

2016年(平成28年)度 第1回常務理事会議事録

日時：平成28年1月30日（土）11:05～14:05

場所：東京医科歯科大学 MDタワー17階 会議室

出席者：藤本豊士（理事長）、岡部繁男、寺田純雄、仲嶋一範、渡辺雅彦（以上常務理事）、松崎利行（常任幹事）、片桐 淳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：阪上洋行（常任幹事）

I. 会議記録の確認

- (1) 2015年(平成27年)度第6回常務理事会（平成27年12月5日開催）議事録（案）
 - (2) 2015年(平成27年)度第6回理事会（平成27年12月5日開催）議事録（案）
 - (3) 2015年(平成27年)度第7回理事会（平成27年12月16-25日開催）議事録（案）
- 上記3件につき、議事録（案）を確認し、了承された。

III. 報告事項

1. 庶務報告（渡辺庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

平成27年12月分

入会者：正会員1名

退会者：正会員22名、学生2名、団体3名

逝去会員

中久喜正一氏（正会員）（享年75）

矢間太氏（県立広島大学生命環境学部・准教授 元代議員）（享年55）

(2) 会費納入状況(長期未納者の除名について)

資料に基づき、2年以上の会費未納者について報告があった。4年未納者は除名となるが、代議員の3年以上未納者については、支部長から連絡をしてもらうこととした。また、海外留学や出産・育児期間中の休会制度の導入について、他学会の状況を調べ、今後検討することとした。

(3) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会宛文書類について以下の報告があった。

①通知・依頼：福島市より「福島市コンベンション施設整備等に係るアンケート回答票」他、30件

②書籍、定期通信 他：（公財）上原記念生命科学財団より「30年史」他、14件

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会について報告があった。定時社員総会では、必要に応じて委員長から説明してもらうこととした。

(5) 定時社員総会資料作成について

資料に基づき、定時社員総会資料作成について報告があった。

(6) 定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、定時社員総会の案内と書面表決状について報告があった。

(7) 永年会員の推薦について

資料に基づき、永年会員の推薦について説明があり、本人意思確認に基づく6名の永年会員希望者について報告があった。

(8) その他

特になし。

2. 編集報告（岡部編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告

資料に基づき、ASI Vol. 91 No. 1が2015年12月26日に発送されたことが報告された。

- (2) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 平成27年度日本解剖学会奨励賞について

資料に基づき、平成27年度日本解剖学会奨励賞・研究費候補者選考委員会からの報告があった。平成27年度日本解剖学会奨励賞については、5名の受賞者の説明があった。また、以下の3点が理事会への申し送り事項として挙げられたことが説明された。

①研究場所について、国内に限るという縛りを撤廃する。

②年齢制限に抵触している・いないに関わらず、出産・育児で研究を離れていた場合について記載するよう明記すること。

③業績記載欄にカテゴリ別の記載（原著、総説、著書の順に記載する）、コレスポンディング・オーサーの場合には【*】を明記すること。

常務理事からは、①に関連して、奨励賞が論文賞ではなく、研究者としての人物を評価して選考するものであることを鑑み、留学中の業績のみならず、留学前後の業績や学会での活躍などを含めて総合的に評価することを再確認し、周知しておく必要があることが意見として挙げられた。

(2) 2017(平成28)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2017(平成28)年度総会・全国学術集会準備状況について報告があった。事前参加登録者は981名であり、事前登録者には3月初旬に、参加証とプログラム・抄録集を発送する予定である。

(3) 2018(平成29)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2018(平成29)年度総会・全国学術集会準備状況について、大会テーマが「見る術を知り、形態の本質に迫るーダヴィンチ哲学に学ぶー」となる等の報告があった。

(4) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、平成27年度第5回日本医学会連合理事会（平成27年12月21日開催）議事要旨と、平成28年度第1回日本医学会連合財務委員会（平成28年1月18日開催）議事録が説明された。解剖学会から財務委員会宛に、平成28年度会費の値下げを要望する意見書を提出したが、財務委員会で協議した結果、現行通りの徴収をおこなうことになった旨、報告があった。

(5) 7th APICAについて

3月にシンガポールで開催される、7th APICAへの日本解剖学会からの参加予定について確認された。また、次回開催地などに関しての協議の場を設けることを打診することとした。

- (6) その他
特になし。

4. 会計報告（寺田会計担当理事）

(1) 支部学術集会収支報告について

資料に基づき、平成27年度の支部学術集会収支報告について説明があった。

(2) 平成27年度決算書概要(案)について

資料に基づき、平成27年度決算書概要(案)について、おおむね予算通りであったことが説明されたうえで、予算と比較して多寡のみられた項目を中心に説明があった。特に会員名簿作成による予備費の支出増につき指摘があり、今後更なる販促を目指すこととした。

- (3) その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 新入会員の承認について（庶務）

資料に基づき審議した結果、1名の新規入会が承認された。

2. 次回常務理事会・理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について（庶務）
資料に基づき、以下の通り日程が確認された。
常務理事会 2016年3月27日（日）13：00～14：30 ビッグパレットふくしま
支部長会 2016年3月27日（日）14：30～15：00 ビッグパレットふくしま
理事会 2016年3月27日（日）15：00～16：50 ビッグパレットふくしま
各種委員会については2016年3月28日（月）から3月30日（水）にかけて、ビッグパレットふくしまで開催
3. 奨励賞規約の一部改正について（企画渉外）
資料に基づき、奨励賞規約の一部改正について審議された。平成27年度日本解剖学会奨励賞・研究費候補者選考委員会から理事会へ申し送りがあった以下の2点の改正について、規約改正案を作成し、理事会に諮ることとした。
①研究場所について、国内に限るという縛りを規約から撤廃する。
②年齢制限に抵触している・いないに関わらず、出産・育児で研究を離れていた場合について記載するよう規約に明記する。
また、他の1点の申し送り事項については、申請書の業績目録欄に、原著、総説、著書、その他の順で記載するよう求め、コレスポンディング・オーサーの場合には【*】を付するよう求めることで対応することとした。
4. 2017(平成28)年度奨励賞選考委員会の人選について（企画渉外）
資料に基づき、2017(平成28)年度奨励賞選考委員会の次期委員候補者の人選をおこなった。
5. 2017(平成28)年度の一級技能士試験について（企画渉外）
資料に基づき、2017(平成28)年度の一級技能士試験の準備状況が説明され、審議した結果、解剖組織技能士資格審査委員長に確認の上、引き続き進めることとした。また、技能士の名称抵触問題についても審議し、「日本解剖学会認定一級解剖技術者」などの名称案を次回の理事会に諮ることとした。
6. 国際交流について（理事長）
資料に基づき、海外交流委員長からのドイツ解剖学会についての報告が紹介された。また、常務理事からは、ドイツの学会と継続的に交流を続けている他学会の例も紹介された。今後、解剖学会としても、若手研究者が相互の学会で講演し、継続的に交流するきっかけとなるような企画を検討することとした。
7. その他
特になし。